

4章 男性の子育てネットワークとの関係

1. 本研究におけるネットワーク

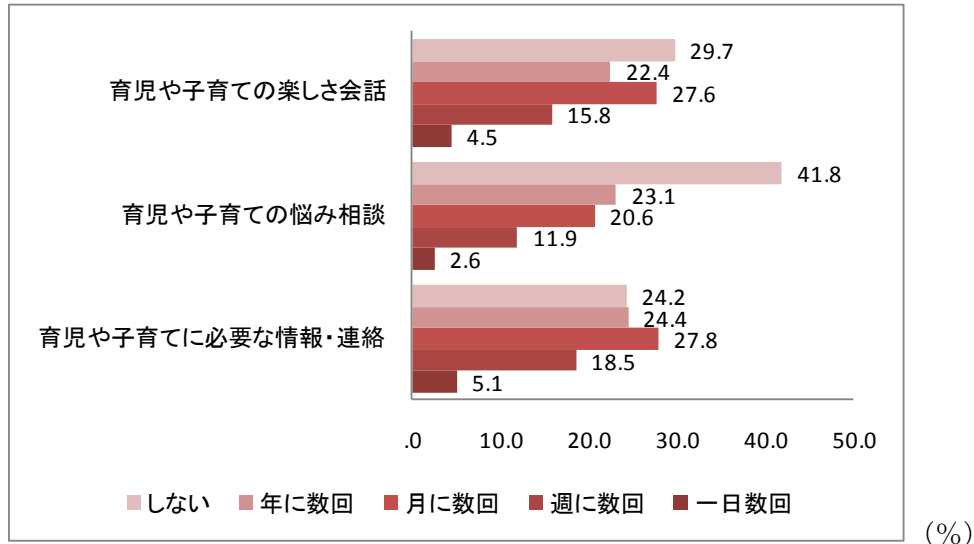
本調査では、父親がどのようなネットワークを持っていると、家事・育児に参加する頻度をたかめていかれるかも検討している。子育てをするときに、どのような内容を誰とコンタクトを持つのかを、ネットワークの相手、内容を設定して検証した。ネットワークの相手としては、①親族ネットワークとしての母親、父親、②職場ネットワークとしての男性、女性同僚、③友人ネットワークとして男友達を設定、そして、内容としては、a 育児や子育てに必要な情報・連絡、b 育児や子育ての悩み相談、c 育児や子育ての楽しさ会話の3種類を設定した。子育ての項目は未就学児7項目、就学児5項目である。

2. 親族ネットワーク

(1) 母親ネットワーク

母親とa~cの内容のコンタクトを、どのくらいの頻度でしているかをみた。結果は図4-1のとおりである。育児に必要な情報・連絡以外は、連絡をとらない（しない）割合が多い。ほかのネットワークと比べて、母親とは子育てに必要な情報や連絡は取り合っていることが明らかになった。

図4-1 母親ネットワークの種類と頻度



子育ての参加頻度については、ほとんどの項目で有意な関係があった。母親と頻繁に連絡をとっている人ほど、育児参加頻度が高いことがわかった。たとえば、「子どもの着替えや身支度の世話をする」という育児項目と母親とのコンタクト内容「育児や子育てに必要な情報・連絡」「育児や子育ての悩みや相談」「育児や子育ての楽しさ」とは全て、連絡頻度が高い人ほど、子育て参加頻度が高い ($p<.001$)。(図4-2) 一方で、関連が見られなかった子育て項目をみると、「子どもと一緒に食事をする」(未就学児)「子どもと一緒に夕食をとる(非)」(就学児)で、すべてのコンタクト内容で関係がなかった。相談頻度に関係なく、“毎日一緒に夕食をとる人とはとる”というこ

とであろう。(図 4-3)

図 4-2 子どもの着替えや身支度の世話

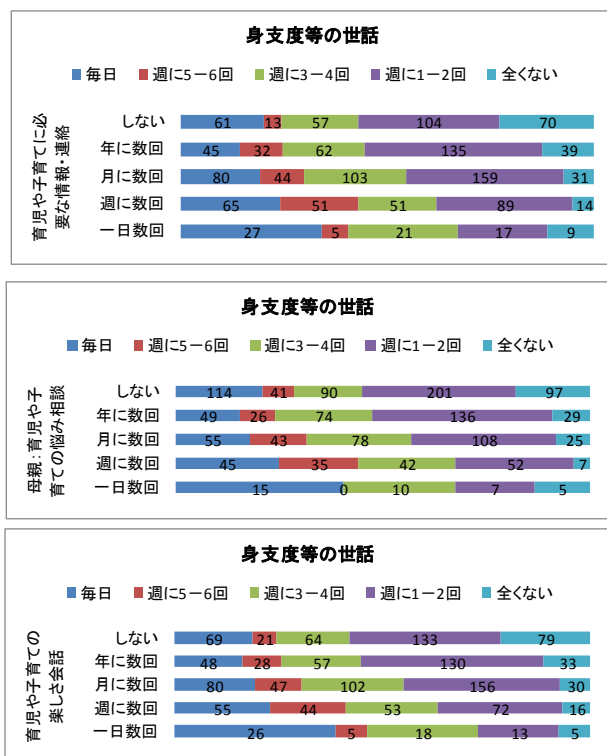
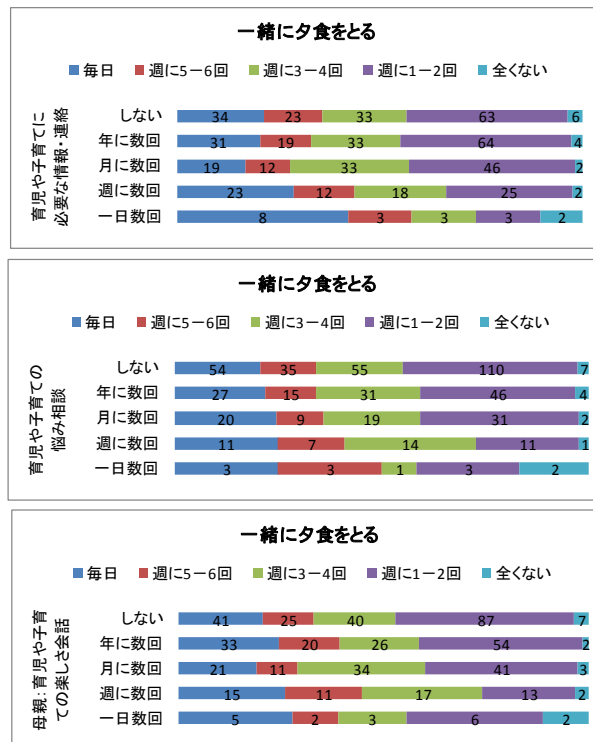


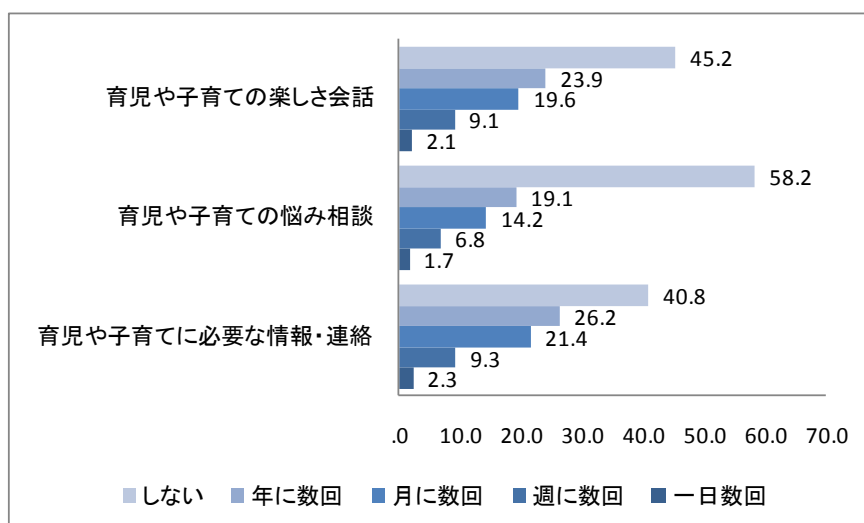
図 4-3 母親 子どもと一緒に夕食をとる



(2) 父親ネットワーク

父親と a~c の内容のコンタクトを、どのくらいの頻度でしているかをみた。結果は図 4-4 のとおりである。しないと回答した者の割合は、各内容で 40%以上あり、女性の同僚と同様、ほかのネットワークより、コンタクトをとっていない。

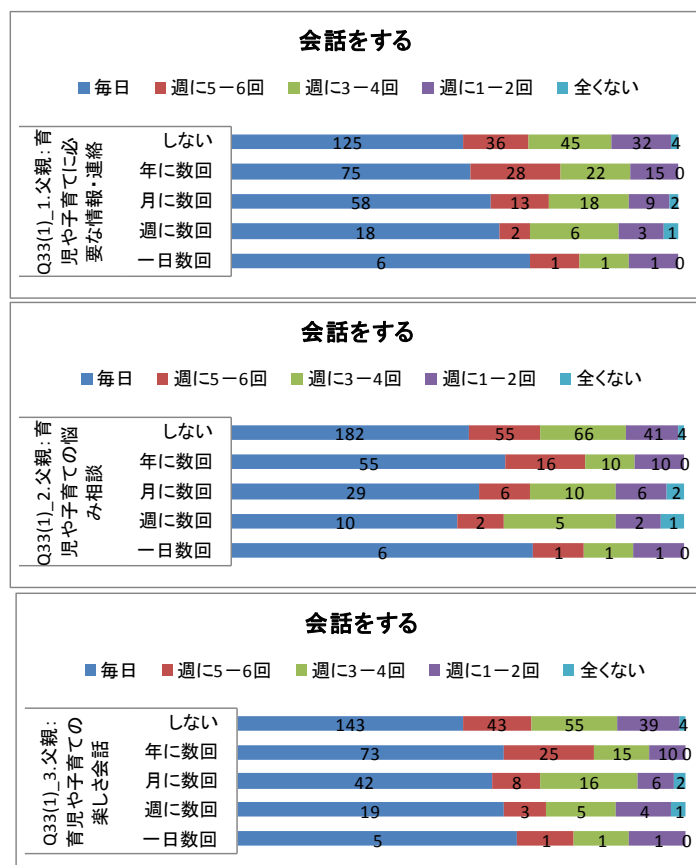
図 4-4 父親ネットワークの種類と頻度



子育ての参加頻度については、未就学児のほとんどの子育て項目で有意な関係があった。父親と頻繁に連絡をとっている人ほど、育児参加頻度が高いことがわかった。たとえば、「子どもの食事の世話をする」という育児項目と父親とのコンタクト内容「育児や子育てに必要な情報・連絡」

「育児や子育ての悩みや相談」「育児や子育ての楽しさ」とは全て、連絡頻度が高い人ほど、子育て参加頻度が高い ($p<.001$)。一方、就学児の項目は「勉強や宿題、習い事の面倒をみる ($p<.001$)」という項目以外、その他のすべての項目で関連が見られなかった。子どもが小さいときには、子育てがかかわっている人ほど父親に連絡する頻度は高いが、子どもが小学生になると、子育てに関して父親と連絡しあわなくても、それとは関係なく子育てをする人はするのではないかと考える (図 4-5)。

図 4-5 父親 会話をする



3. 職場ネットワーク

会社の子供のいる同僚と a~c の内容のコンタクトを、どのくらいの頻度でしているかをみた。結果は図 4-6・4-7 のとおりである。子どものいる男性の同僚とは父親に対してよりは、子育ての楽しさについて話しあっている様子がうかがえる。女性の同僚とは、子どものことについて、話し合う機会を持たないことがわかった。男女に関係なく、同僚とは、週に数回、子どもに関して話し合っている人が 2 割ほどいる。

コンタクト内容と子育て参加頻度との関係については、父親とのコンタクトの傾向と、ほとんど同じ傾向を示している。同僚と子どものことについて話しているひとほど、子育てをしている。

図 4-6 男性同僚ネットワークの種類と頻度

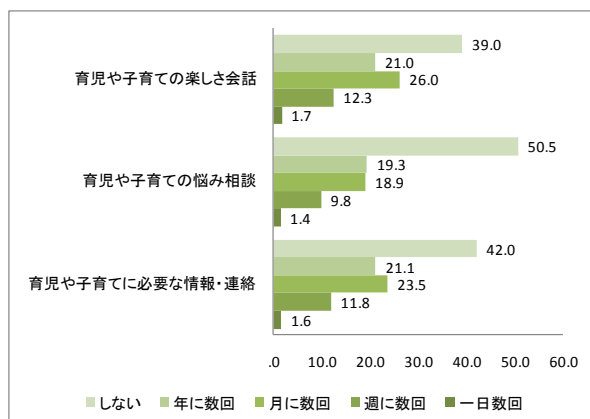
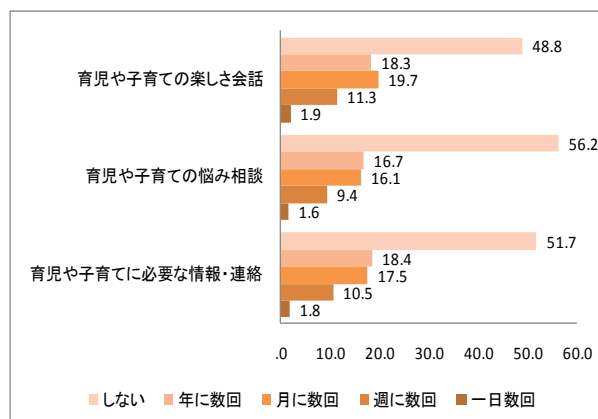


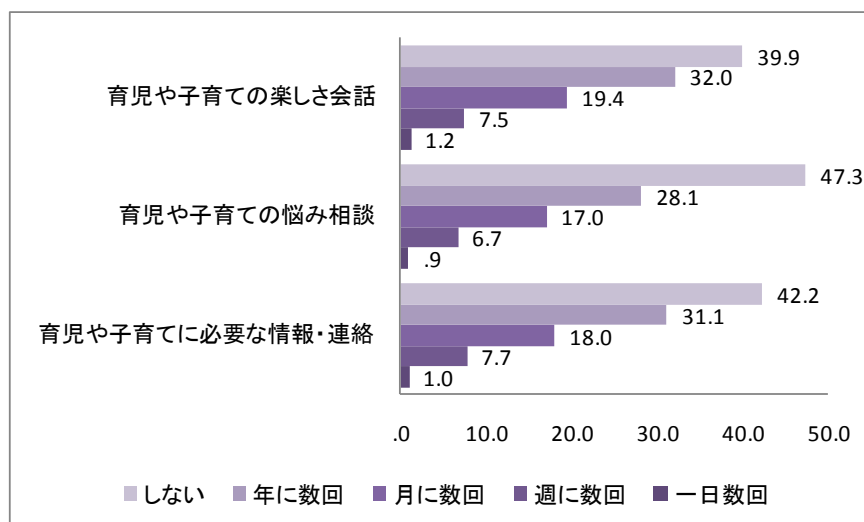
図 4-7 女性同僚ネットワークの種類と頻度



4. 友人ネットワーク

男友達と a~c の内容のコンタクトを、どのくらいの頻度でしているかをみた。結果は図 4-8 のとおりである。男友達と職場の男性同僚との傾向はほとんど同じなので、同僚で、友人である可能性もある。男性の同僚は、毎日会社であっているので、週に数回、子どものことを話しているが、友人では、子育てに必要な情報や連絡を月に数回取り合っている。

図 4-8 男友達ネットワークの種類と頻度



コンタクト内容と子育て

頻度との関係について

も、ほかのネットワークをまったく同じ傾向である。子どものことについてコンタクトをとっている人ほど、未就学児に対する子育て頻度は高い。就学児に対しては、子どものことについて連絡をとっている人ほど、「一緒に家の外で遊ぶ (p<.001)」「勉強や宿題、

習い事の面倒をみる (p<.001)」という子育て頻度は高い。月に数回連絡を取り合って、週末、男性の友人家族と一緒に、出かけて遊ぶ父親もいるであろう。

図 4-9 「勉強や宿題、習い事の面倒をみる」(p<.001)

